

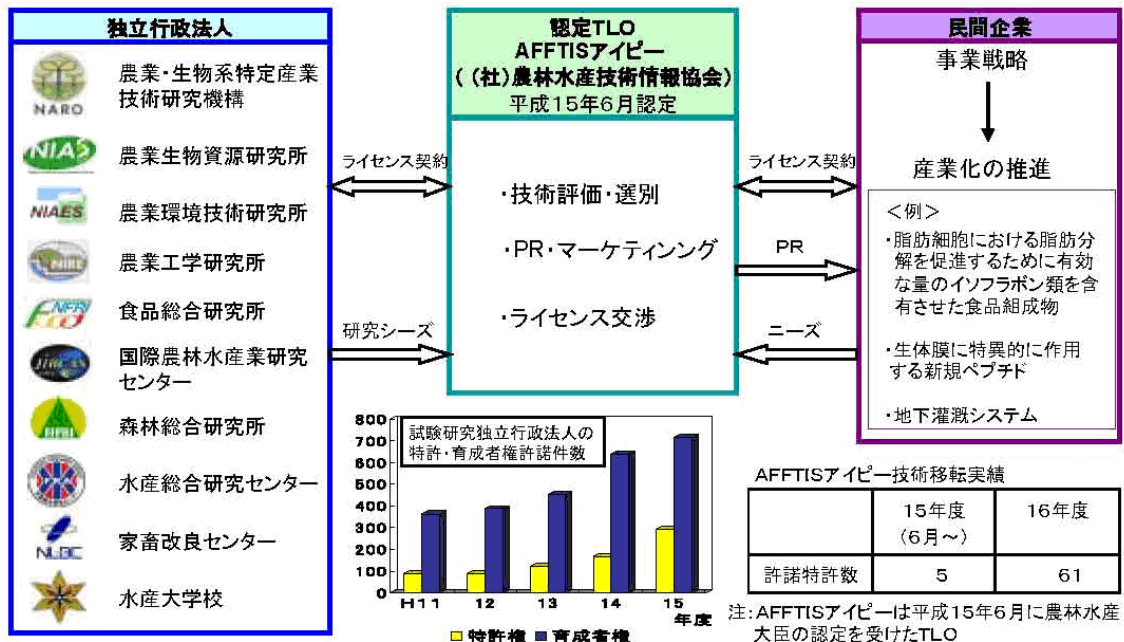
農林水産分野における知的財産取得（最近の事例）

- 平成16年12月、日本を中心とした国際コンソーシアムによりイネゲノム塩基配列の完全解読を達成
- 併せて約3万2000の完全長cDNA、約5万のミュータントパネルなどの研究リソースを蓄積し、特許についても積極的に取得

イネ遺伝子の単離及び機能解明の進捗情報

遺伝子の機能	特許(出願中を含む)		利用研究	
	単離した遺伝子の機能	特許数		合計
病虫害	いもち病抵抗性	1	5	・遺伝子組換えによるいもち病抵抗性系統作出と抵抗性機作の解明
	白葉枯病抵抗性	2		
	その他の病害抵抗性	2		
ストレス応答	高温・低温耐性	2	6	・遺伝子組換えによる抵抗性系統作出と前処理による耐性付与機構解明
	耐塩性・耐乾燥性	4		
形態・生理機能	脱粒性・穂発芽抑制	1	27	・遺伝子そのものをマーカーとした出穂時期の異なる系統群の育成 ・遺伝子組換え半わい性系統作出による草型育種 ・受光体勢の改善による光合成効率の向上
	出穂時期制御	9		
	わい性	8		
	葉の形態制御	3		
	形態と収量の制御	6		
種子品質	タンパク質発現抑制	1	4	・遺伝子組換えによる機能性米の開発 ・低アレルゲン米の育成・利用
	デンプン合成	2		
	低アレルゲン	1		
基盤技術	酵素反応等	2	19	・組織特異的プロモーター利用による遺伝子組換え体の開発
	プロモーター等	17		
遺伝子機能特許 合計			61	(平成17年3月30日現在)
遺伝子マーカーの特許			2	
手法・プログラムに関する特許等			27	
総計			90	

TLOによる技術移転活動



地域食料産業等再生のための研究開発等支援

